



平成 25 年 3 月 29 日

第 2 次中期経営計画「Rising Innovation 2016」について

筑波銀行（頭取：藤川 雅海、本店：茨城県土浦市）は、平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの第 2 次中期経営計画「Rising Innovation 2016」を策定いたしましたので、お知らせします。

記

1. 第 2 次中期経営計画の基本的な考え方

「Rising Innovation 2016」

～いつもあなたのそばに～

地域と共に歩み、地域の中で更なる存在感を確立して、筑波銀行が光り輝く源となる『筑波ブランド』を高めるための革新を続ける 3 年間

筑波銀行は、将来に亘り「地域になくてはならない銀行」として輝き続け、そこに働く行員一人ひとりも地域の中で光り輝くことが出来る、力強い存在感を持った銀行を目指してまいります。第 2 次中期経営計画「Rising Innovation 2016 ～いつもあなたのそばに～」では、当行が地域と共に歩み、地域の中で更なる存在感を確立して、筑波銀行が光り輝く源となる『筑波ブランド』を高めるための革新を続ける 3 年間と位置付けました。

この 3 年間は、「経営効率性の向上」「地域振興に向けた取り組み強化」「経営管理態勢の強化」「経営戦略実現に向けた人材育成の強化」を 4 つの基本戦略として掲げ、地域の皆さまと共に更なる成長を遂げるべく革新を続けてまいります。

(1) 経営効率性の向上

将来的に様々な指標において常に茨城県内シェア 25%以上を目指すという【筑波 *Quarter Plan*】を当行の基本的な考え方として、リレーション営業の強化、エリア営業体制の導入、ダイレクトチャネル機能の拡充、営業店業務の本部集中化等を進め、経営資源をより有効に活用、配分して経営効率性と行員一人ひとりの生産性の向上を図ってまいります。

(2) 地域振興に向けた取り組み強化

東日本大震災からの復興から本格的な振興に向かう転換期において“地域振興に向けた取り組み強化”を基本戦略と位置付け、県や市町村等との連携強化による地域活性化への関わりを通じて「地域復興」から「地域振興」への展開を図ってまいります。当行では、地域振興に向けた組織的な取り組みを強化するため、平成 25 年 4 月 1 日付で営業本部内に「地域振興部」を、また、関連会社内（筑波総研株式会社）にシンクタンク部門を設立して、これまで以上に地域金融機関としての役割を積極的に果たすため、コンサルティング機能を充実させ、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

(3) 経営管理態勢の強化

地域に根差した銀行として存続していくために、経営体力に適応したリスクマネジメントの強化と法令等遵守態勢ならびに顧客保護等管理態勢の更なる強化を図り、より透明感のある企業風土を構築してまいります。

(4) 経営戦略実現に向けた人材育成の強化

行内公募制度や行内外留学制度等を活用して行員一人ひとりの能力や専門的知識の向上を促し、現場力の向上や女性の活躍機会の拡大を図ることで、お客さまに質の高い金融サービスを提供する営業力を高めてまいります。さらに、CS（お客さま満足度）とES（従業員満足度）の向上に取り組み、働きがいのある職場を形成して、地域の中で光り輝くことが出来る活力ある人材の育成に取り組んでまいります。

2. 第2次中期経営計画の骨子

【別紙1】【別紙2】のとおり

3. 主要計数等

	項目	目標（平成28年3月末時点）
ポ リ ユ ーム	貸出金残高	1兆5,800億円以上
	うち事業性融資	7,050億円以上
	うち消費性融資	4,300億円以上
	預金残高	2兆1,500億円以上
	預かり資産残高	2,900億円以上
収 益 ・ 指 標	コア業務純益	60億円以上
	当期純利益	30億円以上
	自己資本比率 (コア資本による算出)	9%以上

以上

報道機関のお問合せ先			
筑波銀行	総合企画部広報CSR室	田村	内線3730
	総合企画部経営企画G	長島	内線3701
	TEL 029-859-8111		

第 2 次中期経営計画の骨子

名 称	「Rising Innovation 2016」 ～いつもあなたのそばに～
期 間	平成 25 年（2013 年）4 月～平成 28 年（2016 年）3 月
基本方針	地域と共に歩み、地域の中で更なる存在感を確立して、筑波銀行が光り輝く源となる『筑波ブランド』を高めるための革新を続ける 3 年間
基本戦略	<ol style="list-style-type: none">1. 経営効率性の向上2. 地域振興に向けた取り組み強化3. 経営管理態勢の強化4. 経営戦略実現に向けた人材育成の強化
重点施策	<ol style="list-style-type: none">1. 経営効率性の向上<ol style="list-style-type: none">(1) 収益基盤の拡大(2) 法人営業体制の強化(3) 個人営業体制の強化(4) 有価証券運用力の強化(5) 信用リスク管理の強化(6) 業務 BPR の推進(7) 収益力強化のためのシステム戦略の展開(8) 適切なコストコントロールの実現2. 地域振興に向けた取り組み強化<ol style="list-style-type: none">(1) 「地域復興」から「地域振興」への展開(2) 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』の実践(3) 地域に根差した CSR の実践3. 経営管理態勢の強化<ol style="list-style-type: none">(1) リスクマネジメントの強化(2) コンプライアンス態勢の強化4. 経営戦略実現に向けた人材育成の強化<ol style="list-style-type: none">(1) 行員の能力向上促進と戦略的配置(2) 活力ある行員の育成

「Rising Innovation 2016」

～ いつもあなたのそばに ～

地域と共に歩み、地域の中で更なる存在感を確立して、筑波銀行が光り輝く源となる『筑波ブランド』を高めるための革新を続ける3年間

計画期間

2013年4月 ▶ 2016年3月 (3年間)

01 将来の目指す銀行像

筑波銀行は「地域になくてはならない銀行」として輝き続け、そこで働く一人ひとりも地域の中で光り輝くことが出来る、力強い存在感を持った銀行を目指します。

地域のために

地域やお客さまのニーズを的確に捉え、極め細やかな金融サービスを提供して、地域経済の成長ならびに地域の活性化に貢献出来る銀行を目指します。



未来のために

地域産業構造の変革を見据えて地域の持続的な成長を共有すると共に、行員一人ひとりの輝きを促し、地域に貢献出来る人材の育成を行うことを目指します。



人との和を大切に

人と人との繋がりと和を大切にすることにより、地域の中で確固たる存在感を築き、「地域になくてはならない銀行」として光り輝き続けることを目指します。

筑波 Quarter Plan

筑波銀行は、将来の様々な指標において
シェア“25%以上”を目指します

02 基本戦略

経営効率性の向上

- (1) 収益基盤の拡大
- (2) 法人営業体制の強化
- (3) 個人営業体制の強化
- (4) 有価証券運用力の強化
- (5) 信用リスク管理の強化
- (6) 業務BPRの推進
- (7) 収益力強化のためのシステム戦略の展開
- (8) 適切なコストコントロールの実現

経営管理態勢の強化

- (1) リスクマネジメントの強化
- (2) コンプライアンス態勢の強化

目指すべき
銀行像の
実現

地域振興に向けた取り組み強化

- (1) 「地域復興」から「地域振興」への展開
- (2) 地域復興支援プロジェクト『あゆみ』の実践
- (3) 地域に根差したCSRの実践

経営戦略実現に向けた人材育成の強化

- (1) 行員の能力向上促進と戦略的配置
- (2) 活力ある行員の育成

平成28年3月末の
目標

ボリューム

貸出金残高	1兆5,800億円以上
うち事業性融資	7,050億円以上
うち消費性融資	4,300億円以上
預金残高	2兆1,500億円以上
預り資産残高	2,900億円以上

収益・指標

コア業務純益	60億円以上
当期純利益	30億円以上
自己資本比率 (コア資本による算出)	9%以上